令和７年度　共に学び 認め励まし鍛え合い 笑顔輝く児童の育成
学校だより かがやく笑顔
R7. 7. 10　潮来市立牛堀小学校　No.8

夏休み　健康第一「心」も満タンに

あと１週間で夏休みになります。１学期、子供たちは大きなけがもなく勉強に運動に無事過ごすことができました。これも保護者の皆様、地域の皆様のお陰だと感謝しております。ありがとうございました。

子供たちにとって待ちに待った夏休みがやってきます。「夏休みはなぜあるのだろう」と考えたことはありませんか。「暑いから」というのもその理由の一つだと思います。また、「自主的、自発的な生活を育てるため」「学習の復習や予習をするため」「家族の一員としての自覚を育てるため」「郷土や地域への社会参加をして幅広い経験を積むため」「健康管理や健康診断等の治療をするため」など、いろいろな理由や意義があると思います。保護者の皆様、地域の皆様が少年少女だった頃の夏休みはいかがでしたでしょうか。楽しかった夏休みとそうでなかったときの夏休みもあったのではないでしょうか。

概して、計画を立て、何か心に残ることや一貫してやり遂げた夏休みの方が良かったように思えます。いろいろな経験をし楽しかった夏休みは、子供たちにとってきっと大人になってからも懐かしく心に残ることと思います。

この夏休み、子供たちが健康を第一に考え、自分たちの命を守り、自発的な生活や学習ができるような環境を保護者の皆様、地域の皆様とともにつくっていきたいと考えています。ご理解・ご協力の程よろしくお願いいたします。

さて、牛堀小学校は「特別の教科　道徳」の研究を始めて今年で３年目になります。１１月２１日（金）には潮来市学習指導研究発表会があり、それに向けた授業研究を６月１８日（水）に３年生、５年生のクラスで行いました。３年生の授業では「どうしたら、きまりを守ることができるのだろうか」、５年生の授業では「親切にするときに大切にすることは何だろうか」というめあてでそれぞれ話し合いました。授業での振り返りを紹介します。

・３年生振り返り

「今までは、自分のためになるからきまりがあると思っていたけれど、今日みんなと話して、他の人のためや自分の身を守るためにきまりがあると知りました。これからは、他の人のためにと思いきまりを守っていきたいです。」

・５年生振り返り

「この学習をして人に親切にするには、勇気がないとほとんどの人は行動できないのかもしれないと思った。でも親切にすることは恥ずかしいことではないから、これからは自分から勇気をもって進んで親切にできるようにしたいと思いました。」

子供たちは、課題に対して自分自身との関わりで考えをもち表現していました。また振り返りの記述で「心」の成長を感じとることができました。私は日頃から、「心が変われば　行動が変わる　行動が変われば　習慣が変わる　習慣が変われば　人格が変わる　人格が変われば　運命が変わる」と考えています。これは、アメリカの哲学者ウィリアム　ジェームスさんの言葉ですが、たくさんの著名人がいろいろなところで紹介をしています。これからも、道徳教育を学校教育の柱の一つとして、子供たちの「心」を育てていきます。

TEL 64-5536　FAX 64-5044　HP https://www.itako-school.jp/ushibori-el
（学校だよりは、ホームページでも公開しています。ぜひアクセスしてください。）